



第2回 《通いの場》 交流会

台風19号のため延期されていた第2回《通いの場》交流会が、2019年12月16日（月）松戸市商工会議所5階第会議室において「通いの場」第2回交流会が開催されました。 ➔

✓ 当日は、千葉大学予防医学センターの武藤剛先生の講演、協力事業者・団体による「地域活動向けコンテンツ」の紹介、ワークショップ「みなで課題を話し合おう」など企画で会が勧められました。

プログラム

- ・主催者あいさつ 菊谷則行
- ・「松戸プロジェクト」推進について
松戸市地域包括ケア推進担当室 川上和志室長
- ・「松戸プロジェクト」連携推進とその役割
松戸プロジェクト事業者パートナー 阿部 剛
- ・講演 「松戸プロジェクトの成果と未来像」
千葉大学予防医学センター特任助教 武藤 剛
- ・ワークショップ「みなで課題を話し合おう」
- ・「通いの場」で役に立つコンテンツの紹介
協力事業者および団体



ニュースター3月8日号では、当日の様様や、ワークショップやアンケートで挙げられた「通いの場」の運営についての悩み、意見、問題解決のためのアイデアを紹介します。

交流会の様様は「松戸プロジェクト」ホームページ (<https://www.matsudo-project.com>) にアップされていますので、是非、こちらをご覧くださいと思います。

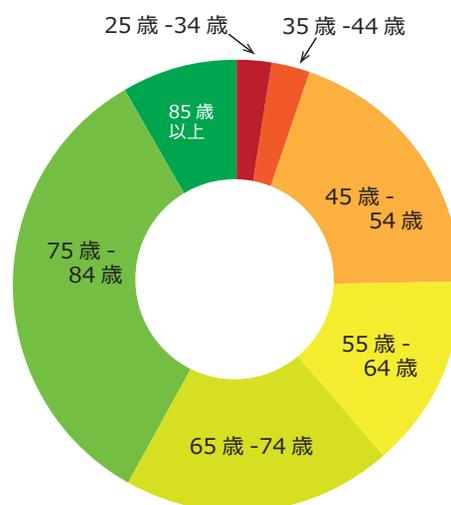
老いも若きも賑やかに

当日は「元気応援くらぶ」やその他の「通いの場」の関係の方々など87名が参加されました。

参加者で多かったのは、65歳から84歳までの年代の方たちでした。この世代の方たちが、「通いの場」の中心メンバーとなっていることがうかがえます。

驚いたことに、85歳以上の方が何と8.3%もいらっしゃったことです。2018年9月に開いた交流会でも80代のかたが、12.5%占めていたのですが、80代後半の方がこんなにも多く活躍されているとは思っていませんでした。ご本人たちにとっては、交流会に参加することぐらい訳のないことなことも知れません。これも日頃から社会参加されて活躍されていることの賜物でしょうか。

また、25歳以上で54歳以下の方も25.5%を占めていました。2018年9月に開催した交流会では、30代から50代の方の割合が28.1%でしたから、若い世代で「介護予防」に興味をもたれている方が一定数いることがうかがえられたと思います。



交流会参加者の年齢構成（アンケートから）